

# 高温対応バイヨネット型シース熱電対 : T-202SH, T-212SH

保護管径  $\phi 2.3$

保護管径  $\phi 4.8$

T-202SH- $\phi$ D-L1-L-□□□-□-□□□-□- $\frac{S}{L2}$

① 保護管径	⑤ リード線端末形状
② 保護管長	⑥ 熱電対の種類
③ リード線長	⑦ 測温接点
④ リード線被覆	⑧ S : 標準90mm L2 : 標準90mmより長い場合指定

型式例 : T-202SH-4.8-25-EXA-Y3-K2-G-S

保護管径  $\phi 2.3$

保護管径  $\phi 4.8$

T-212SH- $\phi$ D-L1-L-□□□-□-□□□-□- $\frac{S}{L2}$

① 保護管径	⑤ リード線端末形状
② 保護管長	⑥ 熱電対の種類
③ リード線長	⑦ 測温接点
④ リード線被覆	⑧ S : 標準25mm L2 : 標準25mmより長い場合指定

型式例 : T-212SH-4.8-25-EXA-Y3-K2-G-S

①	保護管径	$\phi 2.3$ 、 $\phi 4.8$	
②	保護管長	ご希望の長さをmmで指定ください。(25~500mmの範囲)	
③	リード線長	ご希望の長さをmmで指定ください。(1000~8000mmの範囲)	
④	リード線被覆	コード	内 容
		使用温度範囲	
		EXA	ガラス被覆外ステンレスシールド
		EXB	ガラス被覆
		0~150°C	0~150°C
⑤	リード線端末形状	コード	内 容
		コード	内 容
		Y3	Y形端子 (ラグ, M3用)
		R3	丸形端子 (ラグ, M3用)
		MS1	メタルコネクタ (三和コネクタ研究所製 SCK-162-P)
		MN1	メタルコネクタ (七星科学研究所製 NCS-162-P-CH)
		MN2	メタルコネクタ (七星科学研究所製 NCS-162-AdF-CH)
		MN3	メタルコネクタ (七星科学研究所製 NCS-162-PM-CH)
		TS1	T C型コネクタ (CSP01 + CLP-A)
		TS2	T C型コネクタ (CSP01)
		TS3	T C型コネクタ (CSP01 + CLP-A + CSP03)
		TM1	T C型コネクタ (CMP01 + CLP-B)
		TM2	T C型コネクタ (CMP01)
		TM3	T C型コネクタ (CMP01 + CLP-B + CMP03)
		N	処理なし
		Z	その他
⑥	熱電対の種類	コード	内 容
		コード	内 容
		K1	Type K (クロメル-アルメル) クラス1
		K2	Type K (クロメル-アルメル) クラス2
⑦	測 温 接 点	コード	内 容
		コード	内 容
		G	接地形
		NG	非接地形
⑧	L2 寸 法	コード	内 容
		コード	内 容
		S	90mm (標準)
		91~□□□	90mmより長い場合、mm単位で指定
		※ L2は最大L1+L2=500mm以内	
		S	25mm (標準)
		26~□□□	25mmより長い場合、mm単位で指定
		※ L2は最大L1+L2+80=500mm以内	
⚠ スリーブ部の温度が150°Cを超える可能性がある場合、L2 寸法を長くしてください。または、スリーブ部を断熱処理をしてください。			

仕 様	等級 : クラス2 *クラス1製作可 接点数 : 1対式 常用温度 : 550°C
-----	---

備 考

※1 : L3=ホルダ長(ネジ部分は除く)+取付穴長  
ホルダ長は60mm以上推奨です。

※2 : バイヨネットキャップは5~25mmの範囲内でホルダに取付けてください。  
取付時のバネ圧着量の推奨値は6~8mmです。(ホルダーピンとバイヨネットのすきまが0~2mmの位置がセッティングの目安位置です。)

バイヨネットキャップの寸法

ホルダ

ねじ : R (PT) 1/8 の場合  
L=32, 40, 62 (注文時指定)

ねじ : M12 (P1.75) の場合  
L=32, 62 (注文時指定)

※ ねじの種類が異なるものも製作可能です